

■ 考査項目別運用表 の補足説明

考査項目別運用表

考査項目		Q (質問)	A (回答)
項目	細別		
5. 創意工夫等	I. 創意工夫	どういつ場合に評価されるのか。	<p>○施工、品質、安全衛生等について、施工者自らが新しい発想で適切な方法や効率的な手段を考え、工夫をもって対応したものを評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫の内容に妥当性及び効果があると認められる場合に評価する。 ・工事箇所内で行った内容を対象とする。 ・内容が写真や書類で確認できるものを対象とする。 <p>※「創意工夫」の具体的事例は、企業の知的財産・ノウハウにあたり示すことができないため、評価できない事例を示す。</p> <p><評価できない事例></p> <p>(妥当性及び効果が確認できないもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事箇所が田園地帯で住宅が近接していないなど特に騒音対策が求められる場所でもないにもかかわらず、防音シートや超低騒音型バックホウを使用 ・大型コンクリート構造物用の乾燥ひび割れ防止剤を小型構造物に使用 <p>(汎用しているもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型土のうの製作に器具を使用 <p>(共通仕様書等に内容の記載があるもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凍害防止のため、コンクリート養生中に温度管理を行ったもの <p>(他の考査項目で評価できるもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人命救助活動 → 「地域貢献等」で評価可能
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	どういつ場合に評価されるのか。	<p>○工事の施工にともなつて、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価対象項目について、評価する内容を下記①～⑤の事項や実施の効果等を総合的に判断し評価する。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力をを行った。 <input type="checkbox"/> その他 理由：〔 〕 </div> <p>①工事箇所及び工事箇所に関する周辺の範囲で行った内容を対象とする。 ②内容が写真や書類で確認できるものを対象とする。 ③現場代理人または主任術者等が実施した内容を対象とする。 ④地域への金品の寄付行為は対象としない。ただし、災害時での物品の提供は対象とする。 ⑤地元からの感謝状等があれば評価するものではなく、地域への貢献の内容で評価する。</p>